

市立伊丹ミュージアム 特別展

河東碧梧桐と石川九楊—筆蝕の冒険

河東碧梧桐関連資料(石川九楊蔵)約 60 点、石川九楊作品「河東碧梧桐一〇九句選」全作品 115 点を初公開します。

俳人河東碧梧桐の生誕 150 年を記念し、書家石川九楊が所蔵する碧梧桐の書と九楊の作品「碧梧桐一〇九句選」を初めて紹介する展覧会を開催します。

伝統的な有季定型を脱し独創的に変遷してきた河東碧梧桐の俳句は、俳壇から異端とみられ評価されず、今や知る人は少ない。しかし、石川九楊は、碧梧桐の書と俳句に早くから着目し、碧梧桐が近代俳句の革命家であると位置づけています。また、九楊は、自分で作品にしてみなければ碧梧桐論の仕上げにならないと、碧梧桐の俳句を 109 句選び、揮毫した作品「俳句の臨界 河東碧梧桐一〇九句選」を発表しました。

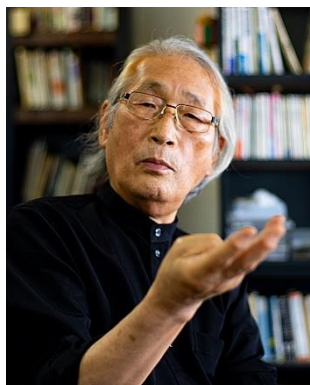
九楊の所蔵する碧梧桐の直筆資料では、初期から晩年までの碧梧桐の書の変遷を、また、九楊の作品「碧梧桐一〇九句選」では、石川九楊著『碧梧桐一〇九句選』に掲載された表紙絵や扉絵を含む 115 点をすべて紹介します。

九楊は、自著『河東碧梧桐—表現の永続革命』の中で「碧梧桐は、正岡子規や高浜虚子から”書の好きな人”だと考えられているが、能書家と呼ぶだけでは済まない次元で書に関わっていた。碧梧桐は、文字と書がひとつづきのものであると考えていたのだろう。書は文字を書く場に成立する美術ではなくて、それ自体が文筆＝文学である。なぜなら書も文学も『文字を書く』つまり筆蝕する場に成立する表現だからである。」と述べています。

石川九楊の碧梧桐研究を通じて、碧梧桐の書と俳句をお楽しみいただければ幸いです。

かわひがしへきごろう
河東碧梧桐(1873—1937)

俳人。愛媛県生まれ。師正岡子規の没後、高浜虚子とともに俳壇を担う立場として、新傾向俳句、自由律俳句、ルビ俳句へと書とともに変化させ、俳句の近代化に力を注いだ。しかし、ルビ俳句に行き詰まりを感じ、昭和 8 年、還暦の年に俳壇引退を表明した。



いしかわきゅうりょう
石川九楊(1945—)

書家。福井県生まれ。京都大学卒業後、三洋化成工業株式会社に入社。昭和 53 年、11 年間の会社員生活に終止符を打ち書家として独立。以来、作品制作と執筆活動に専念、いずれの分野でも最前線の表現と論考を続け、現在までに書作品千点・著書百点以上を世に送り出した。

【石川九楊先生(©高橋トオル)】

- 会期 2024年1月12日(金)～2月25日(日)
- 休館日 月曜日(ただし、2/12開館、2/13休館)
- 開館時間 午前10時～午後6時(入館は、午後5時30分まで)
- 入館料 一般800(700)円 大高生600(550)円 中小生450(350)円
 ※()内は20人以上の団体料金 ※兵庫県内の小中学生はココロンカード呈示にて無料
 ※伊丹市在住の高齢者割引有(平日60歳以上、土日祝65歳以上)
- 主催 市立伊丹ミュージアム[伊丹ミュージアム運営共同事業体/伊丹市]
- 企画 公益財団法人柿衛文庫かきもりぶんこ

〈記念講演会・フォーラム〉

※各会場/市立伊丹ミュージアム1階 講座室

※2023年12月20日(水)よりTEL:072-772-5959にて申込受付開始

●記念講演会 「表現の永続革命—河東碧梧桐の書と俳句」

日 時：2024年1月13日(土) 14:00～15:30

登壇者：石川九楊先生

聴講料：無料

定 員：100名(先着順・要申込)

●碧梧桐フォーラム「碧梧桐の発掘、あるいは発見」

第一部/基調講演「碧梧桐の試み」

登壇者：坪内稔典先生(俳人、柿衛文庫理事長)

第二部/シンポジウム「碧梧桐の発見」

パネリスト：木村和也先生(俳人、大阪俳句史研究会会員)

小西昭夫先生(俳人、「子規新報」編集長)

小山貴子先生(俳人、尾崎放哉研究家)

西野桃笠先生(毎日書道展審査会員、全日本書芸学院理事長)

日 時：2024年2月4日(日) 14:00～16:30

聴講料：一般1,500円、大高生・柿衛文庫友の会会員 1,000円(当日観覧券付)

定 員：70名(先着順・要申込)

〈河東碧梧桐と石川九楊—筆蝕の冒険展 主な出品資料〉

石川九楊筆「河東碧梧桐—〇九句選」115点

石川九楊蔵

石川九楊筆「河東碧梧桐—表現の永続革命」原稿

福井県ふるさと文学館蔵

河東碧梧桐筆「赤い椿」句額

石川九楊蔵

河東碧梧桐筆「糸瓜佛に」句幅

石川九楊蔵

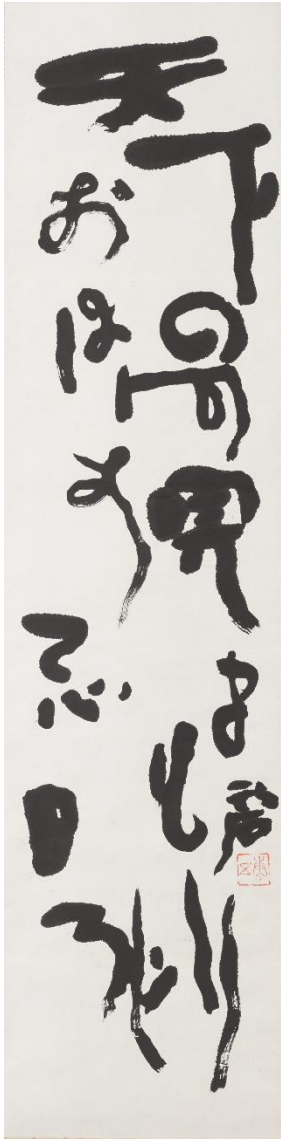
河東碧梧桐筆「還暦(コトシ)」句幅

石川九楊蔵

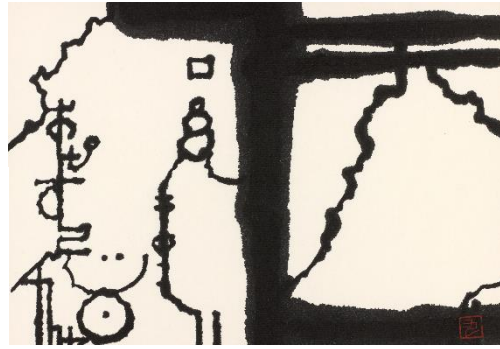
中村不折筆「前後赤壁賦」双幅

石川九楊蔵

ほか175点を初公開



河東碧梧桐筆「天下のおぼろけはあはれいかな」句幅 石川九楊蔵



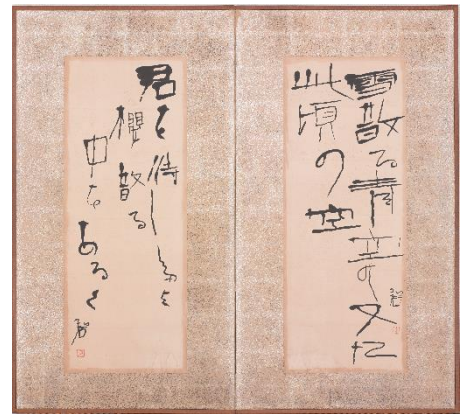
石川九楊作品『河東碧梧桐一〇九句選』より「天下の句見まもりおぼろけいかな」石川九楊蔵



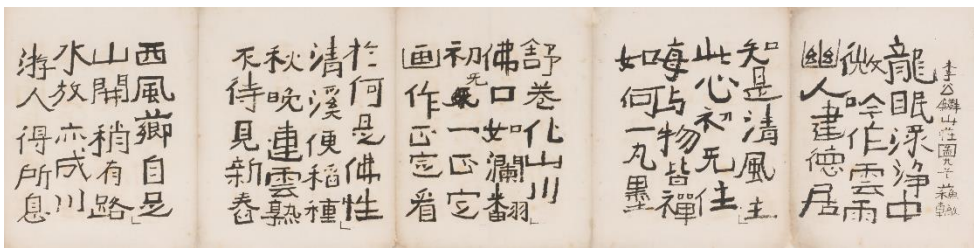
石川九楊作品『河東碧梧桐一〇九句選』より「ざぼんに刃をあてる刃を切る」石川九楊蔵



石川九楊作品『河東碧梧桐一〇九句選』より「夜も鳴く蟬の灯あかりの地に落ちる声」石川九楊蔵



河東碧梧桐筆「雪散る青空の〜」「君を待たしたよ〜」句二曲一隻屏風 石川九楊蔵



中村不折「龍眠帖」巻物 石川九楊蔵

情報に関する確認・取材申込・写真提供等は、下記連絡先までご連絡ください

展覧会主担当：吉田美幸 yoshida@kakimori.jp TEL：072-782-0244

広報担当：古閑真奈美 koga@kakimori.jp TEL：072-772-5557

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-5-20

TEL(代表)：072-772-5959 FAX：072-772-5558

<https://itami-im.jp/>



市立伊丹ミュージアム
Itami City Museum
of Art, History and Culture